

## 断熱モルタルの施工方法

1

**下地の清掃** 施工面のレイタス、塵、油分などは取り除き、水洗いして丁寧に清掃してください。

2

**シーラー塗布** キープジョンの5倍希釈液を刷毛やローラーなどで均一に塗布してください。  
●次工程までの間隔時間：3時間以上

3

**下地調整** サンドモルタルを金鑑で塗り付け、下地を均一にしてください。塗り厚は下地の不陸の程度や必要とする断熱性能によって決定してください。

注)下地精度によっては本工程を省略することも可能です。

●次工程までの間隔時間：3時間以上



4

**断熱モルタルの練り混ぜ** (1)混和材が分離してこわばっている場合は、ビニール袋に入ったままよく揉みほぐしてください。

(2)ハンドミキサーやモルタルミキサーを用いて混和材をペースト状になるまで練混ぜてください。

(3)練混ぜた混和材に粉体を徐々に加えながら“ままで”がなくなるまで3分程度充分に練混ぜてください。

(4)粘度調整が必要な場合は、キープジョンを10倍希釈した液を加えて調整してください。

注)断熱性能が低下する恐れがありますので、材料の調合比は厳守してください。

注)超軽量微小中空体が破損する場合がありますので、必要以上の練混ぜは避けてください。

注)材料の練り置きは30分以内としてください。



5

**断熱モルタルの塗り付け** (1)下地が乾燥している場合は、適度に水湿しするか、キープジョンの5倍希釈液でシーラー処理してください。

(2)下地によく馴染むように材料を一度下擦りしてください。

(3)1回あたりの塗り厚は10mmを限度とし、塗り厚が10mm以上の場合は数回に分けて塗り付けてください。

●次工程までの間隔時間：1週間以上



6

**表面仕上げ** 壁面のペイント仕上げ、クロス張り仕上げの場合は、金鑑でモルキープ#11を1~2mm程度塗り付けて、表面を平滑にしてください。

注)断熱モルタルを床面で使用する場合の表面仕上げは当社にご相談ください。

●次工程までの間隔時間：1週間以上



**危険** 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。  
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
・粉じん、ビームを吸入しないこと。  
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

【応急措置】・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。  
・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。  
・飲み込んだ場合：口をすぐすこと。  
・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。

【保管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。  
【廃棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

### 注意事項

【使用上の注意】・湿気厳禁です。必ず室内にて、パレット等の上で床面より離して保管してください。  
・1回に継る量は30分以内に使い切る量にしてください。  
・継る時は、袋の全量を使い切るようしてください。破袋または一度開封して放置された製品は使わないでください。

【カタログに関する注意事項】・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。  
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。  
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。  
・本カタログは2016年12月に作成しました。

株式会社トクヤマ エムテック

URL <https://www.k-tokuyama.co.jp>

本社・東日本営業Gr 103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F  
TEL 03-6265-1075 FAX 03-6265-1073

中日本営業Gr 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3  
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

西日本営業Gr 812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2  
TEL 092-642-9070 FAX 092-642-9071

首都圏セメント建材 開発センター 299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10  
TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)



# 断熱モルタル

## 無機質超軽量モルタル

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1112010
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

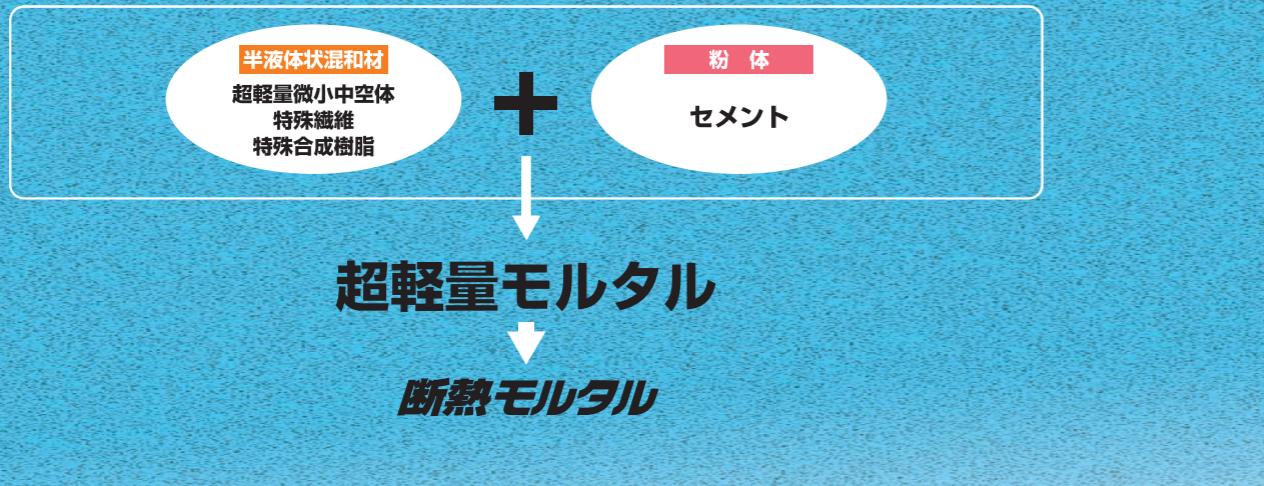


株式会社トクヤマ エムテック

# 断熱・結露防止材 断熱モルタル

## 断熱モルタルとは

従来の有機質系断熱材や無機纖維系断熱材および発泡モルタルなどに替る  
まったく新しいタイプの無機質系断熱材です。



## 断熱モルタルの特長

### 不燃性

- セメントを主成分としているため不燃性です。



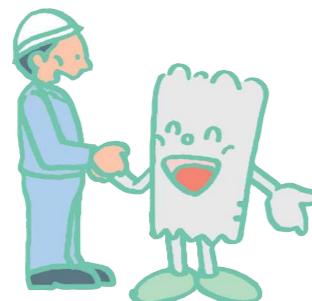
### 断熱性・結露防止性

- 骨材に超軽量微小中空体を使用しているので、高い断熱性、結露防止性を発揮いたします。



### 作業性

- 比重0.4~0.5の超軽量モルタルのため、極めて作業が容易です。



### その他

- 曲面の壁面など在来工法では施工困難な場所にも、施工が可能です。



## 断熱モルタルの用途

- 建築物の内壁や天井面の断熱、結露防止
- 折板屋根の断熱、結露防止
- 有機質系断熱下地板(フォームポリスチレン、フォームポリウレタン、フォームポリエチレンなど)の仕上げおよび防火コート
- サッシ周りの断熱、結露防止用充填材
- 建築物ピロティ床面の断熱・結露防止
- スラブ返しの断熱補強

## 断熱モルタルの仕様

### 標準仕様

品名	荷姿	適用下地	標準塗厚(mm)	塗面積(m <sup>2</sup> )
断熱モルタル	15.7kg・ダンボール箱 (混和材11.0kg) 粉体4.7kg	コンクリート PC板、ALCパネル モルタル	20	1.67(20mm厚)

### 基本物性

項目	断熱モルタル
熱伝導率[W/(m·K)]	0.0625
単位容積質量[kg/l]	0.47
曲げ強度[N/mm <sup>2</sup> ]	0.6
圧縮強度[N/mm <sup>2</sup> ]	0.5
付着強度[N/mm <sup>2</sup> ]	0.2
吸水率[容積%]	27
耐火性	不燃

### 参考:各種材料の熱伝導率

品名	熱伝導率[W/(m·k)]	品名	熱伝導率[W/(m·k)]
ポリウレタンフォーム	0.023	パーライトモルタル	0.523
ポリスチレンフォーム	0.035	セメントモルタル	1.512
グラスウール	0.046	ALCパネル	0.198
ひる石プラスター	0.256	コンクリート	1.628

### 材料の構成

超軽量骨材(マイクロバーン)を素材とし、セメント、特殊繊維、特殊合成樹脂、水溶性樹脂などによって構成されています。作業現場では、半液体状の混和材と粉体のセット品として提供

されるため、現場で練り合わせるだけで、きわめて容易に断熱モルタルを製造することができます。

## 断熱モルタルの施工例



壁面断熱・結露防止工事(曲面下地への施工)



有機系断熱下地板に対する施工  
(有機系下地と無機系仕上のコンビネーション)



ピロティ空間の断熱工事(床冷え対策)



サッシ周りの断熱・結露防止工事